

平成29年度事業報告書

公益目的事業

公1. 誘致活動に係る支援事業

I. 観光客誘致拡大事業

旅行会社の商品造成担当者、雑誌編集者、放送関係者などの招聘や主要協定旅館連盟の助成事業を通して、本市への観光客誘致対策の強化を図ることで本市への誘客効果を高め、観光PRの促進と旅行商品の造成及び情報発信等に努め更なる誘客を図った。

1. 主要旅行代理店集中送客宣伝事業

主要旅行代理店及びキャリアが実施する集中送客キャンペーンを助成し、観光客誘致拡大に努めた。

補助実績：9件

2. 主要協定旅館連盟助成事業

協定旅館連盟の会員が県外に対して実施する観光誘致キャンペーンの経費の一部を補助する事により観光PR及び情報発信に努めた。

補助実績：3件

3. 旅行代理店・旅行雑誌編集者等の招待事業

宮崎市への誘客や情報発信に繋がる各種団体のキーマンを招聘した。招聘に際しては、経費の一部を補助する事で旅行会社の商品造成やイベント等への誘客促進を図った。

補助実績：3件

4. 主要イベント連携事業

宮崎市内で宿泊客の誘因に繋がるイベントと連携を図り、市内宿泊施設に宿泊すると様々な特典が付与されるプランを宿泊施設よりネット販売し誘客に努めた。

(1) 夏季に開催された「AOSHIMA BEACH PARK」、「みやざきグルメとランタンナイト」、「まつり宮崎」、「青島国際ビールまつり」の4件のイベント認知を高め、誘客を図るためにプロモーションを実施。

8月1日～8月31日の期間中に、対象の商品で宮崎市内の対象宿泊施設に宿泊した方に上記4件のイベント会場で使用できる500円金券を付与。

参画宿泊施設：20施設

集客実績：289名

イベント会場への着券実績	AOSHIMA BEACH PARK	120名
	みやざきグルメとランタンナイト	59名
	まつり宮崎	4名
	青島国際ビールまつり	106名

(2) 毎年10万人を超える集客のあるフローランテ宮崎で開催されるイベント「2017イルミネーション・フラワーガーデン～ひかりの花園～」と連携を図った。

12月1日～1月8日のイベント期間中に、対象の商品で宮崎市内の対象宿泊施設に宿泊した方にイルミネーションイベントの入園券を付与。

企画参画宿泊施設：19施設

集客実績：324名

II. 教育旅行支援事業

1. 教育旅行誘致補助事業

平成22年に発生した口蹄疫等の影響で、全国からの修学旅行生が減少したため、宮崎教育旅行誘致受入協議会が中心となり誘致活動を行ってきたが、更なる誘致受入の強化を図るため、平成28年度より（公財）みやざき観光コンベンション協会が事務局となり宮崎県教育旅行誘致推進協議会が発足。これまで以上に、みやざき元気体験プログラムを中心とし、更なる受入体制の充実を図った。

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日（平成33年まで継続事業）

内 容：補助金1人上限5,000円／宿泊補助（1人3千円）体験補助（1人上限2千円）

(1) 誘致対策の推進

○セールス

①南九州地区修学旅行素材現地研修会

期 間：平成29年7月19日・7月24日

主 催：宮崎県教育旅行誘致推進協議会

内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明・現状の聞き取り等

②鹿児島県小学校関係者現地視察会

期 日：平成29年8月9日

主 催：宮崎県教育旅行誘致推進協議会

内 容：宮崎の素材の体験・観光地視察

参加者：鹿児島地区小学校教職員5名

③関西教育旅行誘致セールス

期 間：平成29年12月13日～15日

主 催：宮崎県教育旅行誘致推進協議会

内 容：神戸市、大阪市、奈良県の学校及び旅行会社を訪問し、宮崎県の教育旅行素材情報を提供

参加者：宮崎県教育旅行誘致推進協議会会員18名

訪問先：学校68校 旅行会社8社

④第2回九州教育旅行ふっこうセミナー

期 日：平成30年3月1日

主 催：（一社）九州観光推進機構／九州7県観光課・観光連盟

目 的：九州修学旅行の早期回復

内 容：旅行会社を対象とした教育旅行取り組みの紹介し、九州教育旅行実施校の事例発表、相談会

参加者：宮崎県教育旅行誘致推進協議会会員7名

旅行会社：7社41名

○視察・招聘関係

【学校による教育旅行現地視察（下見）】

①大阪府箕面市立彩都の丘中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成29年8月10日

旅行会社：（株）JTB西日本教育旅行大阪支店

②福岡県春日市立春日南中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成29年8月16日

旅行会社：近畿日本ツーリスト九州（株）福岡教育旅行支店

③大阪府大阪市立淀川中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成29年8月21日

旅行会社：（株）JTB西日本教育旅行大阪支店

④大阪府立生野高等学校 教育旅行現地視察

期 日：平成29年10月11日

旅行会社：（株）JTB西日本教育旅行大阪支店

⑤大阪市立東高等学校 教育旅行現地視察

期 日：平成29年11月4日

旅行会社：(株)日本旅行大阪教育旅行支店

⑥大阪市立汎愛高等学校 教育旅行現地視察

期 日：平成29年12月8日

旅行会社：(株)阪急交通社西日本営業部

【旅行会社による教育旅行現地視察（下見）】

①東武トップツアーズ(株)大阪教育旅行支店 教育旅行現地視察

期 日：平成30年1月14日

(2) 受入対策の推進

① 歓迎事業

生徒への記念品プレゼント(ミッシちゃん3色ボールペン)

② 体験学習受入対応

受 入 数：9校 1, 478名

(3) 平成29年度実績

補助事業

宿泊補助：18校1, 992名 (引率・生徒合計) ※人数前年比 74.9%

補 助 額：5, 976, 000円

体験補助：9校1, 478名 (引率・生徒合計) ※人数前年比190.7%

補 助 額：2, 553, 060円

補助金計 8, 529, 060円 (前年比90.5%)

III. 観光情報発信事業

各種、媒体や団体と連携を図り本市観光の魅力を全国に発信し、誘客を促進するためのキャンペーンを実施した。本市で開催されるイベントや観光情報を幅広く発信し、宮崎への旅の動機づけを喚起させ来訪の促進に努めた。

1. 観光リゾート情報発信事業

(1) 情報発信事業 (関東地区情報発信 中部地区情報発信 九州地区情報発信)

① 関東地区情報発信

1) 関東地区誘致セールス

期 間：平成29年4月18日～19日

平成30年3月20日

内 容：みやざきゴルフマンスセールス等

2) メディアの活用

・月刊NHK俳句とタイアップし、宮崎の特集ページを組み、俳句を通してみやざきの魅力を情報発信。

掲載日：NHK俳句 平成30年3月号

・日刊スポーツとタイアップした「ゴルフ天国宮崎 鉄人坂井がゴルフを料理」を実施し、みやざきゴルフマンスの情報発信に努めた。

掲載媒体：日刊スポーツ

掲 載 日：平成29年10月16日

・スポーツキャンプ期間中にキー局と連携し、宮崎市の情報発信に努めた。

日本テレビの番組とタイアップし、宮崎市内の観光地青島やニシタチ、キャンプ地など幅広い取材を通して情報が発信され誘客に努めた。

日本テレビ NEWS ZERO・ズームインサタデー

日テレG+ 「徳光和夫の週刊ジャイアンツ」

・女性向けメディア4Me e eとのタイアップ企画
ロケットベンチャー「4Me e e」の雑誌やホームページにて、【週末カワイイ旅】1泊2日で宮崎を120%楽しむガイド♪を掲載。取材協力を行い、若年層をターゲットに情報発信に努めた。

・ヤフー本社にて「ニシタチのスナック」プロモーションの実施
「宮崎の食材」と「ニシタチのスナック」PRイベントを都内ヤフー本社で実施。
約1,000名が来場し宮崎の情報発信に努めた。

期 日：平成30年3月30日

②中部地区情報発信

中部地区において、(一社)日本野球機構の協力のもとプロ野球の最大のイベントである「オールスターゲーム」に合わせ、会場のナゴヤドームで来場者全員に観光リーフレットを配布し、大型ビジョンを活用した宮崎の観光情報の放映を行った。

期 日：平成29年7月14日

場 所：オールスターゲーム(ナゴヤドーム)

観客数：36,111名

③九州地区情報発信

宮崎市で行われる「AOSHIMA BEACH PARK」、「みやざきグルメとランタンナイト」、「みやざき青島国際ビールまつり」の各種イベント及び「みやざき元気体験」、「みやざきで遊ぼうクーポン」等をセールスツールに、宮崎県や地元企業の出先機関と連携し誘致宣伝活動を実施した。

1)プロモーション活動

○福岡地区サマープロモーション

西鉄グループや福岡ソフトバンクホークス、福岡地区マスコミと連携し、福岡市天神地区にて夏季イベントのプロモーションを実施。

期 間：平成29年7月5日～6日

場 所：西鉄天神駅周辺

内 容：西鉄天神駅改札上部アドスクリーンへの観光情報の掲出

掲出期間：平成29年6月28日～7月4日

天神地区ビジョン4箇所での観光PR動画の放映

西鉄天神駅中央改札でのチラシ等2,400部サンプリング

在福マスコミ「FBS福岡放送」「KBC九州朝日放送」等での

番組出演(テレビ5媒体、ラジオ2媒体、新聞8媒体にて実施)

2)北部九州集中キャンペーン

福岡地区のTV局が制作する生活情報番組の中で、宮崎のスポーツキャンプや食、観光施設の情報を発信しPRに努めた。

- ・FBS福岡放送「夢空間スポーツ」ホークスキャンプ特集
- ・KBC九州朝日放送「アサデス。」と行くホークス応援ツアー 参加者約400名
- ・RKB毎日放送ラジオ Snappyホークスキャンプ中継
- ・RKBラジオ・MRTRラジオ合同企画キャンプ地から生放送
- ・西日本新聞とタイアップしプロ野球キャンプ期間中に宮崎の食や特産品を紹介

(2)旅行雑誌等への広告掲載

宮崎の観光情報及び広告を「まっぷる情報誌」、「温泉博士」、「みちくさ」、「読売ファミリー」等に掲載した。

(3)新聞等への広告掲載

年間を通して当協会の主要事業及び観光情報について、各新聞(朝刊)スポーツ紙に掲載。

掲載紙：読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、スポーツ報知、日刊スポーツ新聞、宮崎日日新聞等

(4) 福岡ヤフオクドーム観光情報発信事業

福岡ヤフオクドームの野球観戦者に対して、福岡ソフトバンクホークスのキャンプ地宮崎市の観光情報をホークスビジョンにて放映し、視覚的な効果を図りながら観光客誘致を推進した。

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：ホークス主催公式戦の際、ヤフオクドーム内ホークスビジョン及びテレビモニターにおいて、球場来場者に宮崎市の観光情報を発信した。

(5) 京セラドーム大阪観光情報発信事業

京セラドーム大阪の場内看板と外部向けビジョンにおいて「キャンプ地みやざき」の観光情報を掲出・放映し情報発信を行った。

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：プロ野球公式戦やライブ実施のドーム来場者にビジョンや看板を利用して広報活動を行った。

3月～5月 みやざきフラワーマンス

6月～8月 みやざきグルメとランタンナイト

9月～10月 みやざきフェニックス・リーグ

11月～1月 みやざきゴルフマンス

2月 プロ野球キャンプ

(6) 関西誘客プロモーション事業

神戸フェリー・LCC就航・東九州自動車道開通など交通網の充実を契機に更なる誘客を図るため、関西エリアをターゲットに、戦略に基づく情報発信・プロモーションを展開。

旅行商品造成支援として関西の旅行会社等に対し、宮崎市中心部の宿泊施設の利用促進を図り旅行需要を喚起するため、1人1泊あたり2,000円の宿泊補助、カーフェリー補助を行った。

当初の宿泊集客目標は、5,000名泊であったが、2,559名泊となった。

①各種キャンペーン・旅行商品造成等

1) 観光PR動画特設サイトキャンペーン

宮崎ニシタチPR動画 This is Nishitachi

期 間：平成29年4月11日～平成30年3月31日

宿泊実績：855名泊

予約実績：825件

2) 宮崎で遊ぼうキャンペーン

JTB国内企画旅行の商品として、わいわいファミリー「まるごと遊べる九州」を展開

期 間：平成29年6月1日～9月30日

宿泊実績：448名泊

宮崎で遊ぼうクーポン引換冊数：448冊

3) スポーツ合宿等キャンペーン

アマチュア団体のスポーツ・文化系合宿等への宿泊補助

期 間：平成29年4月1日～9月30日

宿泊実績：675名泊

内 訳：(株)阪南交通社32名泊／(株)ヤングリゾート360名泊／
(株)日本ツーリスト283名泊

4) 学生旅行キャンペーン

学生マーケットを対象とした関西エリアの大学生限定旅行商品の造成

期 間：平成29年10月～平成30年3月

旅行会社：(株)ホワイト・ベアーファミリー

宿泊実績：4名泊

5) きずな旅・めぐる旅

学生・家族連れ・祖父母層をターゲットとした旅行商品の造成

期 間：平成29年10月～平成30年3月

旅行会社：(株)H. I. S

宿泊実績：280名泊

6) 宮崎ロマンの旅キャンペーン

10月初旬に旅行商品のチラシを関西圏50万人へ投函

期 間：平成29年12月～平成30年1月

旅行会社：(株)読売旅行

宿泊実績：239名泊

② プロモーション活動

1) 神戸まつり

期 間：平成29年5月20日～21日

場 所：兵庫県神戸市三宮駅周辺

内 容：観光ブース、サンシャインレディ・ミッシちゃんによる観光PR、サンプリングパレードの参加等

2) 神戸みなとまつり

期 間：平成29年7月15日～16日

場 所：兵庫県神戸港 メリケンパーク

内 容：観光ブース、サンプリング

3) 同志社大学学園祭(クローバー祭)プロモーション

期 間：平成29年11月4日～5日

場 所：京都府 同志社大学京田部キャンパス

内 容：観光ブース、サンシャインレディ・ミッシちゃんによる観光PR、物販

4) 宮崎市観光プロモーション「てげえなあ」inせんちゅうパル

期 日：平成29年12月23日

場 所：大阪府 大阪千里中央駅 せんちゅうパル南広場

内 容：宮崎県央の自治体や観光関連事業者が一体となり、宮崎の特産品の販売やステージイベントを実施し、宮崎の「食」「スポーツ」等の魅力を発信

③ 宮崎特産品のおもてなしキャンペーン

特産品のプレゼント(宮崎牛・伊勢エビ・鶏の炭火焼)

(7) 観光地誘客促進事業

個性的な特徴ある観光資源の素材磨きを図り、他市町と広域的に連携し、体験メニューの開発、観光施設等と連携したクーポン「宮崎で遊ぼうクーポン」を作成、大手旅行会社と連携した広告宣伝など、宮崎のブランドイメージと地域間の周遊性を向上させ誘客促進を図り、宿泊客増の取り組みを実施した。

① 「宮崎で遊ぼうクーポン」の販売

約100種類の各アクティビティをお得に利用できる2,000円の10枚綴りクーポンを開発・販売。平成29年度分は、発売を3月より開始し、旅行会社の継続した商品展開に対応した。また、大手旅行会社と連携し個人型の旅行商品の造成を行った。

1) 上期(春夏版)販売実績

参画市町村：4市3町(宮崎市・えびの市・串間市・西都市・綾町・国富町・高千穂町)

参画施設：36施設

アクティビティ数：97種類

メニューの期間：平成29年4月10日～9月30日

販売・提供冊数：3,190冊(前年度4,230冊 前年比75.4%)

利用実績：30,166枚(前年度30,790枚 前年比97.9%)

2) 下期（秋冬版）販売実績

参画市町村：4市3町（宮崎市・西都市・日南市・串間市・えびの市・小林市・国富町・高千穂町・綾町）

参画施設：38施設

アクティビティ数：86種類

メニューの期間：平成29年10月1日～平成30年4月9日（春休み終了まで）

販 冊 数：2,182冊（前年度2,676冊 前年比81.5%）

利 用 実 績：12,823枚（前年度15,194冊 前年比84.3%）

3) 年間合計

販 売 冊 数：5,372冊（前年度6,906冊 前年比77.8%）

利 用 実 績：42,989枚（前年度45,742枚 前年比93.9%）

4) プロモーション活動

○サンプリング

期 日：平成29年7月17日

場 所：JRおおいたシティ駅前広場

○WEB

宮崎市観光協会ホームページ上に特設ページを常設（スマホ対応）

「宮崎で遊ぼう」クーポン利用方法・モデルコース動画の掲載

○印刷物

上期専用パンフレット40,000枚、ポスター50枚、イベント用3,000枚

福岡ソフトバンクホークス「宮崎スペシャルゲーム」配布用パンフレットに掲載

「宮崎で遊ぼうクーポン」掲載チラシ25,000部を市立小学校48校に配布

下期専用パンフレット15,000枚 ポスター50枚 店頭用ステッカー500枚

○新聞・雑誌広告

掲載媒体：地域交流誌みちくさプラスワン夏 平成29年7月掲載

サーフィン選手権大会パンフレット掲載

青島太平洋マラソン公式パンフレット掲載

宮崎日日新聞きゅんと 平成30年2月15日掲載

○旅行商品とのタイアップ

（上期）

組み込み商品造成

ANAセールス(株) 商品名：旅ドキ九州（羽田発）

(株)ジャルパック 商品名：紀行倶楽部（羽田発）

イケちやう！九州（関西・北海道発）

(株)JTB関西 商品名：わいわいファミリーまるごと九州（関西発）

(株)JTB九州 商品名：みやざき願い旅

（下期）

組み込み商品造成

ANAセールス(株) 商品名：旅ドキ九州（羽田発）

(株)JTB九州 商品名：FANTASTIC MIYAZAKI

(株)JTB首都圏 商品名：スペシャル九州

(株)日本旅行 商品名：赤い風船西日本事業部

近畿日本ツーリスト個人旅行(株) 商品名：きままに九州（首都圏発）

2. インバウンド関連事業

(1) 観光インバウンドプロモーション事業

海外からの誘客効果を高めるため、本市への定期便が運航する韓国・台湾・香港を中心に積極的なセールスプロモーションを行い、「観光宮崎」の誘致宣伝に努めた。また、訪日外国人旅行者に対して安全かつ快適な旅行を支援するインフラを構築すべく、安心して来宮いただける環境を整備し、県内外に対し宮崎市の訪日外国人旅行者への受入環境の良さを発信するために、損保ジャパン日本興亜（株）や東京海上日動（株）と連携協定を結んだ。

①損害保険会社との連携協定

1) 損害保険ジャパン日本興亜（株）

期 日：平成29年6月28日

場 所：みやざきNPO・協働支援センター

2) 東京海上日動火災保険（株）

期 日：平成29年7月26日

場 所：みやざきNPO・協働支援センター

②中国

1) 中国山東省青島市セールス

期 間：平成29年6月13日～15日

内 容：青島市旅遊局との交流及び旅行会社へのセールス

2) みやざき青島国際ビールまつり及び青島招聘事業

期 間：平成29年8月25日～28日

内 容：中国山東省青島市との観光友好盟約を記念し、みやざき青島国際ビールまつりでは青島市から招聘し交流会を実施

参加者：青島市旅遊局、青島ビール工場、山東万達国際旅行社（宮崎市側12名）

③台湾

1) セールス

期 間：平成29年12月13日～16日

内 容：宮崎と台湾との貿易や観光など、様々な分野での意見交流交換

訪問先：7社（新竹県庁、桃園市長、中華民国対外貿易発展協会、日本台湾交流協会、現地旅行社等）

参加者：38名（宮崎県、宮崎市、県議会、市議会、（公財）みやざき観光コンベンション協会、（公社）宮崎市観光協会、宮交ホールディングス（株）、フェニックスリゾート（株）を含む19団体）

2) セールス

期 間：平成30年1月21日～24日

内 容：商品造成・販売促進セールス

訪問先：9社

参加者：2名（宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合）

④韓国

1) セールス

期 間：平成29年4月19日～21日

内 容：韓国旅行会社及びKBO韓国プロ野球チームの誘致セールス

訪問先：7社

参加者：5名（宮崎市、（公社）宮崎市観光協会）

2) セールス

期 間：平成29年9月24日～27日

内 容：アジアナ航空ソウル支店にて冬季増便に対する協議、韓国旅行会社及びKBO韓国プロ野球チームの誘致セールス

参加者：4名（宮崎市、（公社）宮崎市観光協会）

(2) 外国人誘客みやざきモデル事業

韓国・台湾・香港の旅行会社と連携して、「美食キャンペーン」と銘打ち、閑散期の新たな旅行商品造成を支援し誘客を図った。「ニシタチ」を中心とした市街地で利用できるクーポン「MIYAZAKI ENJOY TICKET」を付与し街中への誘客を図り、外国人旅行者のリピーター増に努めた。また、南九州で広域連携を図り、南九州エリアを周遊する旅行商品を造成し、更なる誘客に努めた。また、宮崎大学と連携して、台湾留学生によるSNS等を活用した情報発信を行い、宮崎の認知度の向上を図り、宮崎の観光資源の発掘と磨き上げを行った。

①美食キャンペーン

1) 宿泊費補助

現地旅行会社が宮崎市内に宿泊する商品造成に、1滞在2泊を限度に宿泊費の補助を行った。

実績：9,000泊（内訳：韓国3,002泊／台湾3,999泊／香港1,999泊）

2) クーポン券補助

現地旅行会社が宮崎市内の旅行商品造成を行った場合、1滞在1人1冊を限度に中心市街地での買い物・飲食・交通において利用できるクーポン券付ガイドマップ購入費補助を行った。

販売冊数：4,450冊（内訳：韓国1,900冊／台湾2,550冊）

3) 広告宣伝費補助

現地旅行会社（台湾・韓国・香港）が宮崎市内への旅行商品造成を行った場合、広告宣伝に係る経費補助を行った。

4) 各種制作物

外国人旅行者向けのクーポン付ガイドマップ「MIYAZAKI ENJOY TICKET」販売促進用のリーフレットを制作した。

②南九州連携VJ事業（九州運輸局、熊本市、鹿児島市、宮崎市、JR九州）

台湾・香港をターゲットに各地域（熊本市・鹿児島市・宮崎市）のJR九州の南九州レールパス・B&Sみやざきを活用した魅力的な旅行商品を造成した。

ターゲット：台湾、香港のFIT

内容：航空会社、Online Travel Agentと連携した南九州の主要都市と観光列車の魅力発信事業

・航空会社、メディアの招請

・Online Travel Agentであるエクスぺディアでの旅行商品販売

販売期間：台湾 平成29年12月18日～1月31日

香港 平成30年1月14日～2月28日

宿泊者数：宮崎市 台湾：53名泊 香港：600名泊

鹿児島市 台湾：240名泊 香港：2,259名泊

③宮崎大学と連携した台湾誘客プロジェクト

1) 楽遊宮崎倶楽部（愛称「みやざきファンクラブ」）設立

期日：平成29年6月30日

構成団体：本市に住んでいる、または住んでいた事のある台湾留学生26名で構成

活動内容：留学生らが自ら取得した情報（動画、写真等）を活用し、SNS等で観光情報発信やイベント等でPR活動を行い、宮崎の魅力を周知

2) 魅力発見フィールドワークの実施

第1回

期 日：平成29年10月1日 ※8月5日の実施は台風の為延期

参加者：20名（内訳：学生18名、引率者2名）

内 容：青島観光・郷土料理創作体験等

第2回

期 日：平成29年10月14日

参加者：18名（内訳：学生15名、引率者3名）

内 容：藍染体験・市内観光素材調査等

3) 宮崎大学学生による、宮崎観光プレゼン・審査会

期 日：平成29年10月25日

場 所：宮崎大学

内 容：フィールドワークに参加した学生による宮崎観光素材を活用したプランニングのプレゼンテーション及び審査を実施

※プレゼンテーションで入賞した学生チームは、国際交流及び審査員として現地大学による宮崎観光プレゼン審査会に出席

4) 現地大学（東呉大学）による宮崎観光プレゼン・審査会

期 日：平成29年11月18日

場 所：台湾 東呉大学

内 容：現地学生による宮崎観光素材を活用したプランニングのプレゼンテーション及び審査の実施

※現地大学のプレゼンテーションで入賞した学生チームは、プランニングした宮崎観光のコースを平成30年2月21日～24日の期間で体験を行った。

3. ホームページ情報事業

より広く宮崎市のイベント情報や旬の観光情報を紹介し、観光客への利便性を考え、観光情報ページや交通アクセスページの内容更新を行った。

また、プロ野球キャンプやみやざきフェニックス・リーグ、みやざきグルメとランタンナイト、みやざきゴルフマンスなど、より多くの集客が見込める催事については、特設ページを設けアクセス数の増加と内容の充実に努めた。

平成29年度は「ニシタチ誘客キャンペーン」により宿泊予約サイト利用者が前年と比較すると大幅に増加した。

年間アクセス数：約302万件（前年度289万件 前年比104.4%）

宿泊予約サイトホテル掲載数：77カ所 予約件数：825件

対応言語：日本語 英語 韓国語 繁体字 簡体字

IV. 観光資源活性化事業

県内各観光地等と連携を図りながら、「神話」や宮崎ならではの豊かな「自然」や「文化」を取り入れた本市の魅力ある観光資源を活用した事業、魅力ある体験プログラムの造成、また、新たな観光素材開発の視点から、幅広い観光客をターゲットにした誘客事業を展開した。滞在型観光の推進を図り、各観光地・施設等の情報を県外の旅行会社や観光関係機関等へPRを図りながら更なる観光資源の活性化と誘客に努めた。

1. 記紀編さん1300年記念事業

古事記編さん1300年記念の2012年から2020年の日本書紀編さん1300年までを記紀編さん1300年と位置づけ、「日本をはじめた神々の国 宮崎」をキャッチフレーズとした様々なPR事業や誘客事業、イベントを展開した。

(1) 観光神楽事業

青島神社 裸まいり神楽

青島裸まいり前夜祭として青島神社境内にて「神楽祭」を実施。チラシを制作し関係各所へ配布し、多くの方々に神楽の魅力を発信した。また、「青島裸まいり宿泊プラン」を造成し、特典を付与することで新規参加者の取り込みを行い、県外からの誘客に努めた。

主 催：青島裸まいり実行委員会

協 力：青島神社（公社）宮崎市観光協会

期 日：平成30年1月7日

場 所：青島神社 本殿内

参加費：無料

内 容：神前神楽・青島神楽・野島神楽（演目の次第を作成し配布）

特 典：青島神社「しあわせ守り」を来場者にプレゼント

宿泊プラン利用者数：28名

来場者数：44名

(2) 神話ラッピングバス事業

神話のラッピングを高速バス3台で実施し、県外への宣伝告知と話題喚起、情報発信を行った。

期 間：通年

台 数：3台（宮崎～福岡間1台 宮崎～大分間2台）

(3) 宮崎神宮大祭 神々のパレード事業

①神々のパレード

神武天皇より以前の16柱の神々に扮し、宮崎神宮大祭「神賑行列」の参加者を全国から募集し、「日本をはじめた神々の国 宮崎」の魅力を全国へ発信するとともに、日向神話の気運醸成に努めた。

募集した神様16柱：

イザナキノミコト、イザナミノミコト、アマテラスオオミカミ、スサノオノミコト、ツクヨミノミコト、オオヤマツミノカミ、ワタツミノオオカミ、ニニギノミコト、コノハナサクヤヒメ、ホデリノミコト（海幸彦）、ホオリノミコト（山幸彦）、トヨタマヒメ、ウガヤフキアエズノミコト、タマヨリヒメ、イワナガヒメ、ホスセリノミコト（新規）

期 間：平成29年10月28日～29日

場 所：宮崎神宮～瀬頭御旅所

応募総数：45名 男性25名 女性20名（県外10名）

観 客 数：10月29日 台風22号接近のため中止

10月30日 約30,000名

神武さま広場 台風22号接近のため中止

(4) 各種プロモーション

①クルーズトレイン「ななつ星」受入事業

JR九州と連携を図り、クルーズトレイン「ななつ星」の歓迎を行う際に、神話のふるさと宮崎をPR。来宮者を歓迎横断幕で迎え、南男猿や花カード、神話パッケージの焼酎ミニボトルを進呈した。

乗車人数：674名（25回）

②賑わい創出事業

1) 宮崎ブーゲンビリア空港・宮崎駅に顔ハメ看板・神話の家系図を設置しPRを図った。

設置期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

2) JR九州のポケット型時刻表に神話に関する広告を掲載。

配布場所：JR九州の駅（福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、宮崎）

発行部数：360,000部

③宮崎の神話PR事業

みやざきグルメとランタンナイトの会場南側の芝生広場で、神楽と映像で楽しむ宮崎の神話イベントを実施。神楽の披露や神武東征をイメージした映像を、大型LEDビジョンで放送した。

期 日：平成29年8月11日

2. 宮崎体験旅行誘致活性化事業

(1) みやざき元気体験プログラム

宮崎の魅力を再発見してもらうことを目的に、宮崎ならではの豊かな自然や伝統、文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供し修学旅行の誘致や観光客の誘客を図った。

プログラム数：32プログラム

(2) 受入実績

みやざき元気体験プログラム利用者数

①修学旅行：9団体 1,478名（前年度5団体 760名 前年比194.4%）

②個人・一般団体：351名（前年度 147名 前年比238.7%）

V. 広報宣伝活動事業

観光客の誘致を推進するため、各地で開催される祭りへの参加、観光宣伝物の作成、観光名刺や機関紙等、様々なツールを活用し宮崎の観光地のイベント等、本市の魅力ある観光情報を全国に発信し宮崎への誘客を図った。なお、平成29年度は、第34代宮崎サンシャインレディの募集と選考会を実施した。

1. 宮崎サンシャインレディ観光PR事業

第33代宮崎サンシャインレディの任期満了に伴い、第34代宮崎サンシャインレディの募集及び選考会を行った。選考後は、観光PRのため各種イベントに派遣、SNSを活用した観光情報発信を行った。また、宮崎観光親善レディについても様々なイベント等に派遣を行った。

(1) 第34代宮崎サンシャインレディ募集

募集期間：平成29年3月27日～5月25日

告 知：チラシ、ポスター、CM、レディによるテレビやラジオ出演

(2) 選考会

①第一次書類審査

期 日：平成29年5月26日

会 場：宮崎市民プラザ

応募者数：25名

書類審査合格者：22名（うち5名辞退）

②第二次面接審査会

期 日：平成29年6月4日

会 場：宮崎市民プラザ

受験者数：17名

合格者数：12名

③最終選考会

期 日：平成29年6月17日

会 場：宮交シティ「アポロの泉」

最終合格者：「第34代宮崎サンシャインレディ」3名を決定

(3) 研修

マナー&スピーチ研修

期 日：平成29年7月8日・7月22日

講 師：フリーアナウンサー 坂井淳子 氏

スキルアップ研修

期 日：平成30年3月22日・3月29日

講 師：フリーアナウンサー 坂井淳子 氏

(4) 派遣回数

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

派遣回数：125回（宮崎サンシャインレディ95回／宮崎観光親善レディ30回）

(5) 情報発信

年間を通して、レディの活動や宮崎のイベント情報などをSNS（Facebook）を活用して情報発信に努めた。

2. 観光誘致宣伝物作成事業

(1) パンフレット、ポスター、ペーパーバッグ

観光案内所をはじめ、各施設、インフォメーションや観光客に配付するパンフレットやポスター等を作成し、誘致宣伝に広く活用した。

掲載内容が更新されるものは、修正を行い増刷をした。また、県内外で開催される各種大会等からの依頼により、各種宣伝物の提供を行った。

①宮崎市総合パンフレット（日本語）「宮崎スタイル」	50,000部
②宮崎市総合パンフレット（台湾・中国・韓国・英語）「Oh!元気」	各12,000部
③宮崎の神話	20,000部
④ウォーキングマップ（日本語）	30,000部
⑤ウォーキングマップ（英語・中国・韓国）	各5,000部
⑥神話めぐりルートマップ	20,000部
⑦ペーパーバッグミッシ（大）	2,000枚
⑧ペーパーバッグミッシ（小）	2,000枚
⑨ペーパーバッグ神話（小）	2,050枚
⑩サンプリング用ビニールバッグ	8,000枚

(2) カレンダー

「宮崎市 神話の舞台と観光地」をテーマにイザナキとイザナミの国生みから神武東征までのストーリーを紹介したカレンダーを作成。カレンダー内には、宮崎市の観光地やグルメを紹介している「宮崎STYLE」や「神話PV」の動画QRコードを掲載し、宮崎の情報を広く伝える内容とした。外国人旅行者にも伝わるように英語併記の対応も行った。

発行部数：1,000部

(3) 宮崎市観光イメージキャラクターグッズ制作事業

「自然」と「神話」と「食」の宝庫宮崎市のPRキャラクターの「ミッシちゃん」を通じて、宮崎の魅力を県内外に発信することを目的に、宮崎市内外で開催する様々なイベントに参加した。

その他、ワンピースや靴、インナーの汚れや破損が目立ったため、クリーニングや修繕を行い、新たにアクター謝金に関する謝金要綱を作成した。

派遣回数：15回

3. 誘致活動事業

宮崎市への誘客を図るため様々な団体と連携し情報交換を行うなど誘致活動に努めた。

プロ野球の関係者については、情報を収集し、連携を密に図りながら、春季キャンプ期間中の練習試合が、より多く組める環境を整えると共に、プロ野球キャンプの県外移転対策及び宮崎市の長期間の滞在を促すための誘致活動を行った。

4. 観光名刺印刷

魅力ある宮崎の観光地を全国に発信するため、宮崎市内の主な観光地（5種類）がセットになった名刺台紙と宮崎が誇る景勝地・青島の名刺台紙2種類の販売を行った。

販売価格：350円（100枚）

販売実績：132セット

販売場所：宮崎市観光協会事務局、宮崎市観光案内所、宮崎市庁友会

5. 機関紙

(1) 機関紙（Mコミュニケーション）の発行（年6回）

No.130（5月）・No.131（7月）・No.132（9月）・No.133（11月）・No.134（1月）・No.135（3月）

配布先：観光協会会員他

(2) 「宮崎たべてん！」作成

宮崎の特産品の紹介及び地域経済の活性化に貢献するために、11月のゴルフマンス、2月のキャンプマンス期間中、来宮した観光客を対象とした無料のクーポンブックを作成し配布。

併せてネット利用者向けに、アプリを活用しスマートフォンやタブレット端末でも閲覧できるサービスを行った。また、掲載店舗を利用してスタンプを獲得し「JERSEY」に持っていくと宮崎の特産品やグッズなどが当たる抽選会に参加できる「グルメキャンペーン」を実施し、掲載店舗の利用促進を図った。

配布期間：平成29年10月1日～1月31日（秋・冬号） 発行部数 6万部

平成30年 2月1日～3月31日（春号） 発行部数 7万部

6. まつり交流事業

各都市で開催される「まつり交流事業」に宣伝隊や宮崎サンシャインレディを派遣し、宮崎市の観光PRを行った。

(1) 「第16回 樫原夢の森フェスティバル」

期 間：平成29年10月7日～8日 場所：樫原市

(2) 「第66回 鹿児島おはらまつり」

期 間：平成29年11月2日～3日 場所：鹿児島市

(3) ミッシちゃん派遣回数1回

派遣場所：「第16回 樫原夢の森フェスティバル」

7. 宮崎空港内看板掲出事業

宮崎ブルーゲンビア空港の到着ロビー内のカラーコルトン看板に、宮崎の観光地を紹介し、季節に合わせたイベント等に関連した看板を掲出し、歓迎ムードを高めた。

3月～6月：「神話」「自然」「食」の宝庫 宮崎

7月～9月：サーフィン

10月～11月：みやざきゴルフマンス

12月：宮崎リゾート温泉「たまゆらの湯」・青島温泉「出愛の湯 伝説の温泉」

1月～2月：みやざきキャンプマンス

VI. 国内外観光交流事業

国内外を問わず友好盟約締結等、本市との相互交流として訪問団の派遣等を行い、本市の観光情報の発信と国内外からの観光誘客に努め、地域経済発展の寄与と地域の活性化に努めた。

平成29年は、一層の効果的な事業展開を図っていくため、「悠久の時を経て深める絆」をテーマに、(一社) 檜原市観光協会と友好盟約を締結した。

1. 海外他友好都市交流事業

平成16年より、宮崎市観光協会と観光友好盟約を締結している中国山東省青島市旅游局より青島ビール工場の方々等を招聘し、みやざき青島国際ビールまつりや宮崎の観光資源を視察し、友好関係の構築に努めた。

2. 観光団交流事業

(1) 宮崎市姉妹都市「檜原市」との交流

檜原市への観光訪問団派遣 平成29年 4月 9日～12日 参加者60名

宮崎市への観光訪問団受入 平成29年10月28日～30日 来宮者37名

(2) (一社) 檜原市観光協会との友好盟約締結

平成29年は(一社) 檜原市観光協会が設立60周年、(公社) 宮崎市観光協会が設立70周年を迎えた節目の年。より一層の観光推進と両協会の振興に寄与するため「悠久の時を経て深める絆」をテーマに友好盟約を締結。

調印式

期 日：平成29年10月28日

場 所：宮崎観光ホテル

締結者：(一社) 檜原市観光協会 会長 中谷昌紀
(公社) 宮崎市観光協会 会長 菊池克頼

(3) 第24回姉妹都市檜原と宮崎の物産展 両協会共同PRコーナーの設置

物産展開催に伴い、会場一角に檜原・宮崎両市観光協会友好盟約締結共同PRコーナーを設け、盟約締結の周知と物産や観光のPRを行った。

期 間：平成30年1月17日～22日

場 所：宮崎山形屋 新館5階大催事場

(4) (一社) 旭川観光コンベンション協会との友好盟約による交流

旭川市への観光訪問団派遣 平成30年2月7日～9日 参加者27名

公2. 観光客受入体制関連事業

I. 観光客受入事業

国内観光客や近年増加するインバウンド観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供しイメージアップに努めた。また、周辺の観光地および施設等と連携しながら利便性、周遊性の向上を図り、観光客の滞在時間の増加と満足度の向上を目指し、手ぶら観光事業を開始する等、更なる受け入れ体制の充実に努めた。

1. 宮崎市観光従事者研修会

(公社) 宮崎市観光協会設立70周年記念事業 記念トークショーと併せて開催
内容については、(公社) 宮崎市観光協会設立70周年記念事業欄に記載

2. 渚の交番の整備・運営事業

平成22年6月より、日本財団の支援を受け(特非) 宮崎ライフセービングクラブと連携し、多くの観光客が訪れる観光地青島の「安心・安全、きれいで楽しい海づくり」を目指して、各種事業に取り組んだ。

(主な行事)

- (1) 渚の交番施設視察受入
期 間：平成29年4月～平成30年3月
参加者：7件 75名 (宮崎県議会、宮崎市議会他)
- (2) 青島ビーチクリーン活動
期 日：平成29年7月15日
- (3) ハロウィンウォーカー開催
期 日：平成29年11月5日
参加者：270名
- (4) 渚の交番運営委員会開催
期 日：平成30年3月16日

3. レンタサイクル事業

KITENビル1階の「スポーツプラザ宮崎 JERSEY」にて、観光客や市民、ビジネスマン向けにレンタサイクル事業を行った。レンタサイクルのサドルやカゴの補強や修繕を行い、安全・利便性の向上に努めた。

年間利用者数：648名 (前年度644名 前年比100.6%)

4. 外国人観光客向けバスカード「VISIT MIYAZAKI BUS CARD」事業

外国人観光客の二次交通利便性向上のため、宮崎交通(株)が作成する宮崎県内路線バスが平日・週末に拘わらず1日1,000円で乗り放題になる「VISIT MIYAZAKI BUS PASS」の支援を実施した。多言語(英語、韓国語、簡体字、繁体字)のパス・パンフ・チラシ(チラシは英語・韓国・繁体字)を作成し、更なる利便性の向上と充実に努めた。

○VISIT MIYAZAKI BUS PASS

販売期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

利用枚数：22,131枚 (前年度14,173枚 前年比156.1%)

販売先：宮崎市観光案内所	8,010枚
宮崎駅バスセンター	4,752枚
宮崎空港バス案内所	838枚
宮崎空港インフォメーションカウンター	2,583枚
ANAホリデイ・インリゾート宮崎	986枚
シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート	292枚
宮崎観光ホテル	97枚
ホテルルートイン宮崎	104枚
エアラインホテル	23枚
その他宮崎交通支店機関	4,446枚

5. 観光インフォメーション管理運営事業

年間を通して宮崎県内の観光地等を案内。特に高千穂・青島・日南海岸エリアの案内が多い。近年は、インバウンドの数が著しく増加している。中でも香港からの観光客の利用者が目立ち、アクセス方法等を中心とした問い合わせが多い。宮崎市観光案内所では平成29年10月より定期観光バスの予約受付を開始し、更なる受け入れ体制の充実に努めた。

また、青島参道入口の青島屋内には、神話・観光ガイドボランティアが常時待機するインフォメーションコーナーも設置され、受け入れ環境の充実に努めた。

(1) 観光案内所の運営

①宮崎市観光案内所

観光案内件数：42,068件（前年比115.3%）

内 訳：日本人28,584件 外国人13,484件（日本人105.4% 外国人144%）

※前年度：36,462件（内訳：日本人27,101件 外国人9,361件）

1) 宿泊施設有料案内：102組 157名（前年度114組 166名）

2) 定期観光バス予約受付数：30名（内訳：大人28名 小中高2名）

予約受付開始日：平成29年10月1日～

3) VISIT MIYAZAKI BUS PASS・宮崎交通バスカード等の販売3種類：10,642枚

4) 読売巨人軍宮崎キャンプ60年記念乗車券の販売：142セット

5) 物販等：青島恋旅チケット、観光名刺、天孫降臨ヒムカイザーDVD、ポストカード、
宮崎で遊ぼうクーポン

6) 研修会の参加

平成29年度KTPO九州観光案内所スタッフ研修及び意見交換会

期 日：平成30年1月17日

平成29年度JNTO認定外国人観光案内所全国研修会

期 間：平成30年2月22日～23日

②青島インフォメーション管理運営事業（宮崎市観光・神話ガイドボランティア協議会 運営）

青島屋内にインフォメーションコーナーを設置

設置日：平成29年7月7日

ガイド案内件数：237件（前年度243件 前年比97.5%）

年間の稼働日数：350日 勤務スタッフ 1名

神社までのガイドを中心に、観光客への青島地区の観光案内を行った。

③江田神社待機所（宮崎市観光・神話ガイドボランティア協議会 運営）

ガイド案内件数：401件（前年度454件 前年比88.3%）

年間の稼働日数：350日 勤務スタッフ 1名

6. おもてなしボランティア事業

平成12年に宮崎市観光ガイドボランティア協議会が設立されて以降、神話ガイドボランティア協議会の設立などを経て、組織運営面や事業など活発なガイド活動を行ってきた。その結果、相対的な利用者数として、前年比で約18%増の成果が表れている。更には、「宮交ボタニックガーデン青島」の待機ガイド活動も7月よりスタート。一層の受入体制の充実に努めた。

(1) ガイドボランティア

青島神社 毎日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30

江田神社 毎日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30

宮崎神宮 毎週火・水曜日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30

平和台公園 毎週木・金曜日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30

ガイド利用者数：7,131名（有料ガイド：3,609名 無料ガイド：3,522名）
（前年度6,025名 前年比118.3%）

ボランティア登録数：65名（平成30年3月31日現在）

(2) 宮崎市観光・神話市民大学の開催

日向神話ゆかりの地を訪ね、各神社の神職の講話を通じて、宮崎の神話を学び郷土の再発見に繋げた。

期 日：平成30年1月27日

行 程：霧島岑神社～挟野神社～皇子原神社～東霧島神社

参加者：40名

7. 手ぶら観光周遊利用促進事業

飛行機や高速バス、鉄道を使い宮崎に訪れた観光客の観光に要する時間を延ばし、満足度向上を目指すことを目的に、国が推進する「手ぶら観光」に取り組み、受入体制の充実を図った。

宮崎空港ビル（株）が九州運輸局の支援を受けてカウンターを新設し、平成28年11月より試験的に実施していた本サービスを、平成30年2月9日より（株）ソリューションズとヤマト運輸（株）の共同運営により、本格稼働。また、青島～空港～一ツ葉地区間を結ぶシャトルバス、名称は公募で決定した「サンシャインミヤザキ」を運行し、観光客の利便性向上と2次交通の充実を図り、周遊性や滞在性の向上に努めた。

(1) 手ぶら観光

期 間：通年

受付場所：宮崎ブーゲンビリア空港・スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y

利用料金：手荷物配送 1, 0 0 0円/個（ホテルまでの当日配送）

一時預かり 5 0 0円/個（宮崎ブーゲンビリア空港のみ）

配送事業者：ヤマト運輸(株)

利用実績：宮崎空港内手ぶら観光カウンター 3 6 0件 一時預かり 6 0 5件

スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y 7件

(2) 一ツ葉地区～宮崎ブーゲンビリア空港～青島地区シャトルバスの運行

①サンシャインミヤザキ

夏季運行日：23日間（平成29年7月22・23・29・30日 8月4～20・26・27日）

夏季乗車人員数：1, 3 5 1名

冬季運行日：12日間（平成29年12月23～31日 平成30年1月1～3日）

冬季乗車人員数：1 4 9名

期間乗車人数合計：1, 5 0 0名

②新聞・雑誌・メディア広告

掲 載 媒 体：宮崎日日新聞 スポーツ報知 プロ野球春季キャンプガイド J e t s t a r w e b 広告

8. ビーチトレイン運行事業

青島地区の夏期魅力アップの一環として、青島ビーチとこどものくにを結ぶ「ビーチトレイン 渚号」を運行。

運行期間：平成29年7月22日～8月31日

運行ルート：こどものくに～青島グランドホテル前

乗車実績：1, 2 1 2名（7月～8月）（前年度乗車実績（4月～8月）2, 6 0 5名）

II. 観光イベント推進事業

観光客を対象とした、南国ムードを活かした魅力ある宮崎の観光資源をPRするイベントの開催及び支援、新たな誘客素材の掘り起しと開発を行うなど、地域活性化に努めた。

1. みやざき青島国際ビールまつり

中国山東省青島市との友好盟約締結から13年目。オープニングセレモニーとして観光友好盟約セレモニーを実施し、記念品の交換等を行った。各種ステージや花火、宮崎のグルメなどで子供から大人まで多くの来場者で賑わった。

期 間：平成29年8月26日～27日（2日間）

会 場：こどものくに

来場者：5, 2 0 7名（26日3, 1 4 2名/27日2, 0 6 5名）

主 催：みやざき青島国際ビールまつり実行委員会（事務局：こどものくに）

2. みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

夏休み期間中の誘客対策として、フローランテの夕涼みをグレードアップし7回目の開催。宮崎のグルメはもちろん、日本各地のグルメ延べ約60店舗が出店した「全国グルメ博2017」を開催。特別イベントとして、宮崎牛日本一3連覇応援コーナーとして「JA宮崎経済連レストラン」を出店し宮崎牛のPRに努めた。台風5号の影響もあったが県内外から多くの来場者があった。

期 間：平成29年8月4日～20日（17日間 ※台風の影響により2日間休園）

会 場：フローランテ宮崎

来場者：76,703名（前年度80,103名 前年比95.7%）

主 催：みやざきグルメとランタンナイト実行委員会（事務局：（公社）宮崎市観光協会）

3. 行事負担金

実 績：9件（青島太平洋マラソン大会 みやざき納涼花火大会 他）

第31回青島太平洋マラソン大会

宮崎市の中心市街地を疾走できるコースとして人気を有し、近年のランニングブームなどに伴い、全国的にも人気の大会として定着。県外からの参加者も多く期間中は宿泊施設も満室となる等、地域経済にも大きく寄与している。

同時開催：第26回国際視覚障害者マラソン宮崎大会

期 日：平成29年12月10日

コース：フルマラソン・10km・3km

参加者：12,130名（県外：6,149名／県内：5,981名）

4. フラおもてなし誘客推進事業

フラと宮崎市の南国情緒を融合し、「フラのメッカ宮崎」のイメージを定着させるとともに、宮崎を訪れる観光客等に対してフラによるおもてなしを行った。

(1) 宮崎ブーゲンビリア空港おもてなしフラ

①宮崎市まごころ工芸展における歓迎フラ

期 日：平成29年4月22日

場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場前向かい側通路

②ブーゲンビリアプレゼントにおける歓迎フラ

期 日：平成29年5月27日

場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場

③アロハガーデンにおけるフラステージ

期 日：平成29年7月9日

場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場

④サンシャインマーケットにおける歓迎フラ

期 日：平成29年8月9日

場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場

⑤手ぶら観光サービス本格稼働における歓迎フラ

期 日：平成30年2月9日

場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場

(2) プロ野球キャンプ関連おもてなしフラ

期 日：平成30年2月24日

場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 到着ロビー

期 日：平成30年2月24日・25日

場 所：宮崎市清武総合運動公園（オリックス・バファローズ）

期 日：平成30年2月25日

場 所：宮崎市生目の杜運動公園（福岡ソフトバンクホークス）

5. 新規事業開発事業

総務企画委員会において、新規事業（案）として短期・中期・長期的な課題について、協議を重ね、すぐに事業として取り組めるものについては、平成30年度新規事業として、ニシタチ誘客プロモーションや外国人向け観光体験メニュー開発の事業化を図った。

また、小林市観光協会やえびの市・高原町と周遊型観光の推進についての意見交換を行い、「宮崎で遊ぼう」クーポンへの参画を依頼した。

その他、損保会社と連携を図り関東地区でのキャンペーン、団体保険制度の活用やセミナーの開催について協議を行い、新規事業の開発に努めた。

6. みやざきふるさと食材アピール事業

宮崎たべてん秋冬号・春号に掲載のグルメキャンペーン参加店で飲食し、スタンプを獲得するとスポーツプラザ宮崎 J E R S E Y で抽選会に参加できる企画を実施。抽選で宮崎の特産品を贈呈し、宮崎の食のPRを図った。

期 間：平成29年10月1日～1月31日（秋・冬号）

平成30年 2月1日～3月31日（春号）

Ⅲ. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグキャンプ期間中、円滑なキャンプ受入環境の整備をはじめ、各種大会や合宿の実施に伴う支援体制の充実を図った。来宮した観光客の満足度を高め、利便性と周遊性の向上に努め、渋滞等の交通緩和対策や、歓迎ムードを盛り上げるために宮崎市内各所での賑わい創出に努めた。

1. キャンプ受入事業

(1) 福岡ソフトバンクホークス宮崎キャンプ受入事業

福岡ソフトバンクホークスのキャンプ観戦者が、安全でより快適に観戦できる環境を整えるために臨時駐車場の整備やシャトルバスの運行など様々な受け入れに取り組んだ。

【実施内容】

- ①警備（駐車場内、駐車場間誘導等）
- ②臨時駐車場の整備
- ③シャトルバス運行
- ④キャンプ地の告知、臨時駐車場の広報
- ⑤キャンプ期間中のカラーコーン、ゴムマットの設置
- ⑥路上駐車対策
- ⑦案内誘導看板の設置

(2) オリックス・バファローズ宮崎キャンプ受入事業

オリックス・バファローズの春季キャンプを実施するため、更なる施設の充実に努めた。また、キャンプ観戦者が安全で快適に観戦できるように、交通警備及び臨時駐車場の準備等を実施し、臨時駐車場と運動公園内第1駐車場で無料のシャトルバスを運行した。

【実施内容】

- ①警備（駐車場内、駐車場間誘導等）
- ②臨時駐車場の整備（清武谷ノ口農村公園、清武総合支所裏河川敷）
- ③シャトルバス運行（第1駐車場～臨時駐車場間）
- ④キャンプ地の告知、臨時駐車場の広報
- ⑤キャンプ期間中のカラーコーン、ゴムマットの設置
- ⑥路上駐車対策
- ⑦案内誘導看板の設置

(3) 読売巨人軍宮崎キャンプ受入事業

読売巨人軍宮崎キャンプが円滑に運営ができるようキャンプ地の環境整備や歓迎装飾、来場者に対して写真展やジャイアンツバスの運行などを行い、ジャイアンツタウンの周知に努めた。

①ジャイアンツタウンの創出

1) ジャイアンツバスの運行

通年運行 バス2台 ※春季キャンプ中は、キャンプ地内のシャトルバスとして運行

2) エアポートボールパーク2018 (空港写真展)

期 間：平成30年2月2日～28日

内 容：県内で春季キャンプを行うプロ野球5球団の写真展を宮崎ブーゲンビリア空港
オアシス広場にて開催

3) 歓迎バナーの掲出

期 間：平成30年2月1日～3月1日

内 容：中心街の橋通りアーケード及び江平商店街、橋橋、南バイパスに掲出

掲出枚数：100枚

②大型ビジョン導入・活用

読売巨人軍の春季キャンプ期間中、キャンプ地の飲食物ゾーン「ボールパークG」内に全天候型世界最高画質の271型のLED大型ビジョンを設置。効率良いキャンプ観戦として、リアルタイムでのキャンプ映像、練習映像を放映した他、宮崎観光情報や宮崎のPR動画、スポーツランドみやざきをPRする放映を行った。

期 間：平成30年2月1日～13日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園サンマリスタジアム前「ボールパークG」

(4) 三球シャトル運行支援事業

①三球シャトルバスの運行

野球ファンにより宮崎市を楽しんでもらう環境と周遊性を高めると共に、交通対策の一助として、3球団のキャンプ地を巡る無料シャトルバス「三球シャトル」を運行した。車内では、キャンプ地情報が分かる掲示物を装飾し、3球団連携事業CMや観光動画を運行中に放映するなど、キャンプ地だけではなく、宮崎の情報発信に努めた。

三球シャトルの運行：1日6往復×2ルート（土・日・祝日運行）

総乗車人員数：2,102名（前年度2,545名 前年比82.5%）

○木花ルート：読売ジャイアンツ（木花）— オリックス・バファローズ（清武）

運行本数：48運行（4日間×6往復）

運行期間：平成30年2月3日・4日・11日・12日

乗車人員：698名

○生目ルート：福岡ソフトバンクホークス（生目）— オリックス・バファローズ（清武）

運行本数：96運行（8日間×6往復）

運行期間：平成30年2月3日～25日の土・日・祝日

乗車人員：1,404名

②スタンプラリーの実施

3球団のキャンプ地のうち、2つのキャンプ地でスタンプを押して応募すると、特産品が抽選で当たるスタンプラリーを実施。

期 間：平成30年2月1日～3月1日

応募総数：3,976名

商 品：A賞・サイン入りユニフォーム、B賞・球団グッズ、C賞・宮崎牛ステーキ、
D賞・日向夏、E賞・完熟きんかん

(5) プロ野球3球団連携事業

宮崎市内でキャンプを行うプロ野球球団は巨人、ソフトバンク、オリックスの3球団。

1市で3球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけであり、3球団合同での事業に取り組むことにより話題性を更に高めスポーツランド宮崎をより推進し、3キャンプ地の周遊性を高める事を目的として実施。

①ロゴマークの制作・活用

宮崎市内で春季キャンプを実施している各球団のロゴマークを使用した「宮崎キャンプ3球団連携ロゴマーク」を制作。記念グッズや歓迎看板、ホームページなどに活用することにより、キャンプ地宮崎の更なるPRを行った。

②グッズ製作

1) 3球団連携ロゴマーク入りグッズの製作・販売

Tシャツ、フェイスタオル、ピンバッジを製作しキャンプ地等にて販売を行った。

販売場所：3球団キャンプ地 スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y

宮崎ブーゲンビリア空港内 エアポートボールパーク

売 価：Tシャツ 2, 200円 フェイスタオル 1, 500円 ピンバッジ 700円

販売実績：Tシャツ 469枚 フェイスタオル 885枚 ピンバッジ 615個

③市街地盛り上げのためのユニフォーム・コースター製作

3球団連携ロゴ入りオリジナルユニフォーム、コースターを製作
キャンプ地のPRと歓迎気運を高める宮崎市内の各事業所等で活用

1) ユニフォーム

製作数：300枚

活用方法：宮崎市内ホテルやキャンプ地周遊バスドライバー、駅、空港、フェリー乗り場のスタッフ等にて着用

2) コースター

製作数：20,000枚

活用方法：「宮崎たべてん」掲載店にて活用

④イメージCM制作

前年キャンプの練習風景や宮崎の風景、特産品を組み合わせた「キャンプ地みやぎき」イメージ動画を制作。キャンプ特設ホームページや街頭ビジョン（品川駅前、名古屋市栄、宮崎市内）で放映の他、各球団の公式HPでも取り上げられた。

2. スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

(1) スポーツ等合宿受入事業

スポーツ合宿、大会誘致を図ることを目的に、本市で合宿する各種スポーツ団体を対象に、バス経費の補助、宮崎県産の牛肉・豚肉・地鶏・フルーツやドリンクの贈呈をはじめとした受入、誘致セールスを行いスポーツランド宮崎の振興を図った。

①関西地区の大学生を対象としたセミナーの開催

②大学生や社会人の各種スポーツ団体の合宿受入

③各種大会・合宿団体へバス経費補助や特産品、ドリンクの贈呈

実績：スポーツ合宿贈呈数 98団体（2, 231名）（前年度138団体 3, 985名）

大会参加者 10大会（2, 473名）（前年度 5大会 1, 865名）

合計 4, 704名

3. Jリーグキャンプ誘致事業

Jリーグ宮崎キャンプの誘致を推進するために、宮崎市のスポーツアドバイザーと連携し、積極的な誘致活動を行った。

4. みやざきゴルフマンスキャンペーン事業

ダンロップフェニックストーナメントとLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップの2大トーナメントが開催される11月を「ゴルフマンス」と銘打ち、各トーナメントと連携しながら宮崎への誘客を図った。更に3月末にアクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKIが開催され、より多くのゴルフ観光客を取り込むことを目的に、ツアー特典期間を3月末日まで設定。ゴルフマンスキャンペーンでは宮崎市近郊を含む18のゴルフ場と連携し、ゴルフプレー券や特産品、ホテル宿泊券などが当たるスタンプラリーを実施し、4,114通の応募があった。また、JA宮崎中央ファン拡大委員会と連携し、両トーナメントへ野菜・果物の差し入れを行った。

10月初旬には、ポスター掲出キャンペーンとして、宮交グループ、フェニックス・シーガイア・リゾート、九州旅客鉄道(株)宮崎総合鉄道事業部と合同で県内道の駅やJR有人駅、各市町村観光協会へトーナメントと連携したポスターを掲出し、県内での周知に努め、トーナメントの誘客を図った。

また、10月のJR宮崎駅鉄道の日イベントや11月の鹿児島おはら祭りではPRブースを設け、スナッグゴルフ、宮崎たべてん・トーナメントチラシの配布を実施。更に、メディアを訪問し、トーナメントへの誘客とみやざきゴルフマンスのPRを行った。また、両トーナメント開催週には、トーナメントの結果と翌日のペアリングや「宮崎たべてん」を街中で配布し、両トーナメントへの更なる周知と関心を高め、県内外客の誘客促進を図った。

ゴルフマンスキャンペーン期間：平成29年10月1日～平成30年1月31日

ゴルフマンスツアー特典期間：平成29年10月1日～平成30年3月31日

○プロモーション

JR宮崎駅鉄道の日イベント 期 日：平成29年10月28日

鹿児島おはら祭りPRブース設置 期 間：平成29年11月2日～3日

鹿児島メディア訪問 期 日：平成29年11月2日

○特産品PR

旅行会社が造成したゴルフマンスプランで来宮したお客様の中から、抽選で宮崎特産品をプレゼントする企画を実施。

期 間：平成29年10月1日～平成30年3月31日

参画旅行社：(株)JALパック

特 産 品：宮崎牛、宮崎ブランドポーク、地鶏セット

(1) ダンロップフェニックストーナメント

宮崎ブルーゲンビリア空港オアシス広場にて、前年度優勝者ケブカ選手の歓迎セレモニーを実施し、歓迎の挨拶や花束、レイ、記念品(神楽面)の贈呈を行った。その他、ギャラリーサービスの向上を図り、宮崎市こどもふれあい広場の運営や歓迎装飾を主とした事業を実施。市内の幼稚園児をこどもふれあい広場へ招待した。

大 会 期 間：平成29年11月16日～19日

総 観 客 数：17,813名(前年度10,977名)

宮崎市こどもふれあい広場利用者数：1,937名

わくわく探検ツアー：10名

託児所利用者：6名

園 児 招 待：11月16日 みくに幼稚園 41名

11月17日 住吉幼稚園 52名

(2) LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ

LPGAツアー4大公式戦の1つとして毎年注目を集めるツアー最終戦。トーナメント会場となる宮崎カントリークラブ周辺に歓迎バナー・看板等を設置すると共に、ギャラリーラザへの支援、チャリティーパティンニングコーナー、お楽しみ抽選会、インフォメーションの運営等を行い、ギャラリー向けのサービス充実を大会事務局と連携し実施した。

大会期間：平成29年11月23日～26日

総観客数：13,441名（前年度12,129名）

①トーナメントわくわく探検ツアーの実施

宮崎市立宮崎港学校 小学5年生65名

②ギャラリープラザ内の支援

内容：ギャラリープラザ内の運営協力、ボランティアの募集・管理、宮崎観光PRブースの設営・運営

(3) アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI

3月末の宿泊閑散期に開催され、6回目となった本大会には、プロ・アマ合わせ100名以上の選手と関係者やマスコミ、多くのギャラリーが観戦に訪れ、本大会を通して、宮崎市のゴルフ環境の良さや観光地の情報発信、歓迎装飾などの協力体制に努めた。

本大会は、(株)テレビ宮崎が主催者として開催し、当協会も実行委員会の委員として参画している。

大会期間：平成30年3月23日～25日

総観客数：14,529名（前年度13,179名）

5. 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

スポーツイベントが開催される期間、中心市街地及び北バイパス・南バイパスの道路付近に歓迎看板やバナー・フラッグを設置し、市民や宮崎を訪れた観光客に対しイベント開催ムードの醸成及び歓迎を目的に実施した。平成29年度は、球春バナーとホークスフラッグ、ジャイアンツの新デザインバナー・フラッグ、また、Jリーグ3チームのフラッグを作成した。

10月：みやざきフェニックス・リーグ

11月：ゴルフマンス

2月：プロ野球春季キャンプ

2月：球春みやざきベースボールゲームズ

1月～2月：Jリーグキャンプ

3月：アクサレディスゴルフトーナメント

IV. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やJリーグチームの本拠地においてキャンプ地宮崎のPR及び宮崎キャンプへの誘客に努めた。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇るスポーツ施設や、全国有数の日照時間・温暖な気候など恵まれたスポーツ環境や支援・受入体制についてセールスし、スポーツランド宮崎の情報発信を行った。

1. ジャイアンツキャンプ地みやざきDAY事業

読売巨人軍宮崎キャンプが60年目を迎えるにあたり、読売ジャイアンツ球場にて、キャンプ地みやざきDAYを実施。宮崎キャンプ60年の周知と、宮崎への誘客を図るため、リーフレットの配布や観光PRブースを設置し宮崎の情報発信を行った。

期 日：平成29年9月16日

会 場：読売ジャイアンツ球場

内 容：リーフレットの配布、宮崎特産品が当たる抽選会、観光PRブースの設置

2. スポーツランド情報発信事業

京セラドーム大阪で開催されるオリックス・バファローズの試合観戦者に、「キャンプ地みやざき」をPRし、宮崎への誘客促進のために場内看板と外部向けビジョンを活用し観光情報を掲出・放映した。

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：公式戦やライブのドーム来場者に看板等を利用して広報活動を行った。

3月～5月 みやざきフラワーマンス

6月～8月 みやざきグルメとランタンナイト

9月～10月 みやざきフェニックス・リーグ
11月～1月 みやざきゴルフマンス
2月 プロ野球キャンプ

3. キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業

宮崎市でキャンプを行っているJリーグチームの本拠地にて「キャンプ地みやざきスペシャルマッチ」を実施。観戦客への先着プレゼントやパンフレットの配布、大型ビジョンを使用した観光映像の放映等を通じて「キャンプ地みやざき」のPRを図った。

ベガルタ仙台

カード：ベガルタ仙台 VS ジュビロ磐田

期 日：平成29年8月9日

場 所：ユアテックスタジアム仙台

結 果：0 対 0

入場者数：11,500名

4. みやざきスペシャルゲーム開催事業

東京ドーム、福岡ヤフオクドーム、京セラドーム大阪で「みやざきスペシャルゲーム」を開催。観光パンフレットの配布や球場内ビジョンの活用や宮崎のテレビ局との連携を通し球場全体が「キャンプ地みやざき」と大きくアピールできるよう、ドーム入場者やマスコミに対し観光宮崎のPRを行った。また、開催前には、大阪・福岡のマスコミ等を訪問し事前の周知を行った。

中でも、京セラドーム大阪では、「キャンプ地みやざきシリーズ」として、宮崎のアピールを2日間努め、福岡ヤフオクドームでは、「みやざきスペシャルDAYS」と称し、物販の販売等、宮崎のPRに努めた。

(1) 京セラドーム大阪「みやざきスペシャルゲーム」

カード：オリックス・バファローズ VS 埼玉西武ライオンズ

期 日：平成29年5月13日

結 果：2 対 8

入場者数：21,291名

応援団参加者：150名

(2) 東京ドーム「みやざきスペシャルゲーム」

カード：読売ジャイアンツ VS 横浜DeNAベイスターズ

期 日：平成29年7月1日

結 果：4 対 6

入場者数：43,858名

応援団参加者：220名

(3) 福岡ヤフオクドーム「みやざきスペシャルゲーム」

カード：福岡ソフトバンクホークス VS 北海道日本ハムファイターズ

期 日：平成29年7月29日

結 果：4 対 0

入場者数：38,585名

応援団参加者：200名

5. スポーツセールス事業

宮崎市はスポーツ施設をはじめ、天候などもスポーツに適した環境があるため、プロスポーツをはじめ、アマチュアスポーツのキャンプ誘致を行った。プロ野球キャンプの県外移転を防ぐためにもプロ野球関係者と密に連携を深めた。

11月には、アジアプロ野球チャンピオンシップに出場する日本代表チーム「侍ジャパン」の国内合宿の誘致に成功。3月には、ヤクルト球団主催のオープン戦、ヤクルト v s 中日2連戦の誘致がアイビススタジアムで成功し、本県出身のヤクルト青木選手や中日柳選手の活躍で大いに賑わいをつくることができた。

V. 少年少女スポーツ大会支援事業

少年少女たちが、スポーツ大会を通じてスポーツ交歓や交流を図るほか、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行った。

1. みやざきフェニックス・リーグ杯 少年少女サマーベースボールトーナメント

憧れのプロ野球選手がキャンプを実施する本市の恵まれた施設環境とスポーツランド宮崎のブランド力を活かした大会。本大会の開催を通してNPB12球団との連携や地元宮崎の選手と他県の少年少女との交流を深め、未来を担う子供たちの健全な育成に寄与し宿泊客増を高めることを目的に実施した。

期 間：平成29年7月29日～31日

試合会場：宮崎市生目の杜運動公園・宮崎県総合運動公園・宮崎市清武総合運動公園

参加チーム：宮崎県外14チーム(高知県2, 島根県1, 福岡県1, 佐賀県1, 大分県2, 熊本県3, 鹿児島県4)宮崎県内18チーム

2. みやざきゴルフマンス観光推進事業

みやざきゴルフマンス第12回宮崎ガスジュニアゴルフ選手権への支援。

主催は、宮崎ガス(株)、事務局を(株)宮崎放送で実施。

本事業は、宮崎のゴルフ観光とジュニアゴルファー育成のため、ダンロップフェニックストーナメント大会事務局からの寄付金により運営。

※平成29年度大会は、当日台風18号接近による荒天のため開催中止となった

(1) ストロークプレーの部 期 日：平成29年9月16日 <荒天のため開催中止>

(2) マッチプレーの部 期 日：平成29年9月17日 <荒天のため開催中止>

(3) レッスン会 期 日：平成29年9月17日 <荒天のため開催中止>

収益目的事業

収1. スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y 運營業務

1. スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y の運營業務

宮崎駅西口 K I T E N ビル1階の「スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y」では、プロ野球やサッカー、日本代表などの商品販売やキャンプ地宮崎に関連する展示物等の充実を図り、様々な企画を実施し、情報発信及び誘客に努めた。平成29年度は、「スポーツランドみやざき」の更なるPRを図るためインスタグラムを開設。また、宮崎のおもてなしの拠点として手ぶら観光サービスの受付を開始し、受入環境の充実にも努めた。

来訪数：19,103名

【平成29年度の主な行事】

5～8月：「キャンプ地宮崎から応援に行こう！」と称し、購入金額に応じて福岡ソフトバンクホークス公式戦入場無料引換券をペアでプレゼント。

6 月：スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y のインスタグラムを開設。
手ぶら観光サービスの受付を開始。

9 月：宮崎市でキャンプを行う3球団(巨人・ソフトバンク・オリックス)の応援!特別企画として、購入金額に応じてグッズが当たるガラポン抽選会を開催。

- 10月：2017年プロ野球ファーム日本選手権宮崎大会のチケット販売。更なる盛り上げを図るため、優勝ペナントを展示。
みやざきフェニックス・リーグ期間中に特別企画として、一定額以上商品を購入した方に公式球（使用球）をプレゼント。フェニックス・リーグ街中スペシャルイベント開催に伴い、J E R S E YのPRステージでクーポンを配布。クーポンを持参したお客様には、特別価格で公式球（使用球）をプレゼント。
- 12月：年末年始特別企画として、購入金額に応じてガラポン抽選を行い、12球団グッズをプレゼント。春季キャンプに向けての盛り上げを図った。
大相撲宮崎場所開催に伴い、出場した力士のサイン入り手形を展示。
- 1月：宮崎市でキャンプを行う3球団（巨人・ソフトバンク・オリックス）ロゴ入り連携Tシャツ・フェイスタオル・ピンバッチを販売。
- 2月：オリックス・バファローズの山本由伸投手、山崎颯一郎投手のトークショーを開催。県内外から約150名が参加。
読売巨人軍宮崎キャンプ60年記念「ジャイアンツVSホークスOB戦」のチケットを販売。また、読売ジャイアンツ長嶋茂雄終身名誉監督のサイン入りバットや出場選手全員の直筆サインパネルを展示し、大会の盛り上げを図った。
冬の特別企画として、一定額以上商品を購入した方に、福岡ソフトバンクホークスオープン戦内野自由無料入場券をペアでプレゼント。
- 3月：東京ヤクルトスワローズVS中日ドラゴンズオープン戦に伴い、ヤクルト球団マスコットキャラクターのつば九郎が来店。店内で写真撮影会を開催し、オープン戦とJ E R S E YのPRを図った。また、オープン戦会場にて販売ブースを設置し、出張販売を行った。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等の開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

(1) 2017プロ野球ファーム日本選手権

KIRISHIMAサンマリスタジアム宮崎にて5年連続7回目のプロ野球ファーム日本選手権を開催。宮崎市でキャンプを実施する読売ジャイアンツと日南市でキャンプ実施する広島東洋カープのカードとなった。初の取り組みとして国歌斉唱者を全国から公募し誘客に努めたほか、県内の少年野球チームなどの招待事業も行い大会の盛り上げに努めた。

期 日：平成29年10月7日

カード：読売ジャイアンツ VS 広島東洋カープ

結 果：2 対 5

観客数：6, 225名

(2) 侍ジャパン宮崎秋季合宿2017

平成29年11月に開催されたアジアプロ野球チャンピオンシップに出場する日本代表チーム「侍ジャパン」を県と一体となり誘致し、万全の準備を整え受入を行った。

期 間：平成29年11月9日～13日

場 所：宮崎市清武総合運動公園

観客数：10, 300名

(3) 読売巨人軍宮崎キャンプ60年記念「ジャイアンツ VS ホークス OB戦」の協力運営

期 日：平成30年2月10日

カード：ジャイアンツ VS ホークス OB

結 果：11 対 3

観客数：17, 642名

法人会計

1. 会議の開催

(1) 定時総会 平成29年6月23日

(定款の変更について、役員報酬規則について、平成28年度事業報告、収支決算、平成29年度事業計画、収支予算、理事及び監事の選任について、他)

(2) 理事会

第1回 平成29年6月1日

(平成28年度事業報告、収支決算、平成29年度事業計画、収支予算、平成29年度定時総会の開催について、他)

第2回 平成29年6月23日

(会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について、顧問、参与の選定について)

第3回 平成29年10月16日

(平成29年度補正予算(案)、規程等の改正(案)について、会長、副会長、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行状況について、主な事業の報告について、他)

第4回 平成30年3月20日

(平成29年度補正予算(案)、平成30年度事業計画(案)、収支予算(案)について、規則等の改正(案)について、会長、副会長、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行状況について、他)

(3) 総務企画委員会

第1回 平成29年5月26日

(観光功労者の選考について、平成28年度事業報告、決算報告について、平成30年度新規事業(案)について、設立70周年記念事業について、(一社)檀原市観光協会との友好盟約締結について、他)

第2回 平成29年7月27日

(平成30年度新規事業(案)について、モク・オ・ケアヴェ・インターナショナルフェスティバルについて、他)

第3回 平成29年9月8日

(平成30年度新規事業(案)について、設立70周年記念事業について、他)

第4回 平成29年10月10日

(平成29年度補正予算(案)について、規程の改正(案)について、平成30年度新規事業について、他)

第5回 平成30年3月15日

(平成29年度補正予算(案)について、平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、他)

(4) 監事会 平成29年5月23日

(事業及び会計の監査)

(5) 会長・副会長会議

第1回 平成29年4月6日

(モク・オ・ケアヴェ・インターナショナルフェスティバルについて)

2. 観光功労者の表彰

期 日：平成29年6月23日

受賞者：個人4名

3. 観光協会設立70周年記念事業

(公社)宮崎市観光協会は、昭和22年12月4日に設立され、平成29年で70周年を迎えた。設立70周年を記念し、記念ロゴの制作や式典等を開催。

期 日：平成29年12月19日

場 所：宮崎観光ホテル

内 容：＜第一部＞

記念トークショー

演 題：「スポーツランド宮崎の未来について」

出 演：読売巨人軍OB会 会 長 柴田 勲 氏

副会長 中畑 清 氏

元福岡ソフトバンクホークス 斉藤 和巳 氏

参加者：263名

＜第二部＞

記念式典／観光功労者特別表彰

受賞団体：6団体

福岡ソフトバンクホークス(株)

(一社)日本女子プロゴルフ協会

(株)ダンロップスポーツエンタープライズ

宮崎商工会議所

宮崎空港ビル(株)

宮崎カーフェリー(株)

祝賀会

参加者：248名

4. 「20d o体験型進学就職イベント」の参加

中学生、教職員を対象に、地元の「仕事」を知ってもらう「20d o体験型進学就職イベント」が開催され、参加した中学生が「仕事」「企業」「まち」について学べるコーナーが多数出展。宮崎の観光と(公社)宮崎市観光協会の組織や事業内容について興味・関心をもってもらうため出展。

期 日：平成29年8月30日

場 所：宮崎市総合体育館

会員数

平成29年3月31日	正会員	325会員
	賛助会員	4会員
	合 計 会 員	329会員

平成29年度増減内訳	正会員増	10会員
	正会員減	10会員
	合 計 会 員	増減 0会員

平成30年3月31日	正会員	325会員
	賛助会員	4会員
	合 計 会 員	329会員

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会

(1) 球春みやざきベースボールゲームズ

既存キャンプ球団の継続及び期間の長期化のためには、キャンプ期間中の実戦形式の練習環境が重要であることから、他県でキャンプを張るチームへ宮崎での練習試合開催を呼び掛け、6回目の開催となった。本県でキャンプを行う福岡ソフトバンク、オリックス、埼玉西武、沖縄でキャンプを実施している千葉ロッテ、東北楽天の2球団に韓国プロ野球斗山ベアーズが加わり、6球団にて開催された。自治体及び団体で構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」が主催となり、当協会は、実行委員会の事務局として大会運営を行い、テレビ・ラジオなどのCM告知、新聞広告等を実施した。

期 間：平成30年2月27日～3月1日

観 客 数：15,500名

参加チーム：福岡ソフトバンクホークス、オリックス・バファローズ

千葉ロッテマリーンズ、埼玉西武ライオンズ、東北楽天ゴールデンイーグルス
斗山ベアーズ(韓国プロ野球)

入 場 料：全試合無料

【試合結果】

○2月27日

福岡ソフトバンクホークス	1対2	千葉ロッテマリーンズ	(アイビススタジアム)	観衆5,600名
オリックス・バファローズ	5対4	東北楽天ゴールデンイーグルス	(SOKKENスタジアム)	観衆2,700名
埼玉西武ライオンズ	10対1	斗山ベアーズ	(サンマリンスタジアム)	観衆900名

○2月28日

福岡ソフトバンクホークス	3対0	東北楽天ゴールデンイーグルス	(アイビススタジアム)	観衆900名
オリックス・バファローズ	5対1	斗山ベアーズ	(SOKKENスタジアム)	観衆500名
埼玉西武ライオンズ	対	千葉ロッテマリーンズ	(サンマリンスタジアム)	雨天中止

○3月1日

福岡ソフトバンクホークス	5対1	斗山ベアーズ	(アイビススタジアム)	観衆1,200名
オリックス・バファローズ	8対1	埼玉西武ライオンズ	(SOKKENスタジアム)	観衆2,500名
東北楽天ゴールデンイーグルス	2対8	千葉ロッテマリーンズ	(サンマリンスタジアム)	観衆1,200名

2. 読売巨人軍宮崎協力会

(1) 読売巨人軍キャンプ受入事業

秋季キャンプと60回目を迎えた春季キャンプを行う読売巨人軍の歓迎式を行うとともに、サンマリンスタジアム宮崎横に飲食・販売ブース「ボールパークG」を開設した。また歓迎装飾やステージイベントを行う等、歓迎ムードや賑わいを創出した。

秋季キャンプ：平成29年11月1日～19日

観 客 数：未発表

春季キャンプ：平成30年2月1日～13日 (一軍選手)

平成30年2月1日～27日 (二軍選手)

平成30年2月15日～3月1日 (三軍選手)

観 客 数：143,000名(※2月1日～13日の観客数)

(2) 読売ジャイアンツ宮崎キャンプ60年記念事業

1959年(昭和34年)より宮崎県宮球場で始まった読売巨人軍の宮崎キャンプが60年目を迎えるにあたり、球団へ感謝の意を表しメモリアルキャンプの装飾やステージイベント、60年写真展を実施した。また「ジャイアンツVSホークスOB戦」の円滑な協力運営を行い、本市と巨人軍と更なる絆を深めた。

ジャイアンツ VS ホークス OB戦
期 日：平成30年2月10日
結 果：11 対 3
観 客 数：17,642名（キャンプ観衆には含まず）

3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会

(1) 福岡ソフトバンクホークスキャンプ受入事業

2年連続日本一を目指す福岡ソフトバンクホークスが秋季・春季キャンプを実施。キャンプ地宮崎市生目の杜運動公園内に飲食・物販ブース「ホークスビレッジ」を開設した。また、球団の激励や歓迎装飾、ステージイベントを実施し、歓迎ムードや賑わいを創出した。

秋季キャンプ：平成29年11月2日～18日

観 客 数：未発表

春季キャンプ：平成30年2月1日～3月1日

観 客 数：295,000名

(2) 「福岡ソフトバンクホークス歓迎パレード in みやざき」の開催

平成29年シーズンにて日本一を果たしたチームの歓迎と、次シーズンの連続日本一を祈願して、宮崎市中心部でのパレードを実施した。

期 日：平成30年1月31日

場 所：宮崎市橘通り（市役所前交差点～デパート前交差点～市役所前交差点）

観 客 数：50,000名

4. オリックス・バファローズ宮崎協力会

(1) オリックス・バファローズキャンプ受入事業

キャンプ地宮崎市清武総合運動公園内にて、4回目となる宮崎キャンプを実施。キャンプ期間中には、飲食・物販ブース「バファローズタウン」を開設し、歓迎装飾やステージイベントなどの各種イベントを実施し、歓迎ムードや賑わいを創出した。キャンプの休養日には、学校訪問や養護施設を訪問する等、キャンプ地ならではの受入を行った。

春季キャンプ：平成30年2月1日～3月1日

観 客 数：104,200名

5. Jリーグ等宮崎協力会

Jリーグ等のキャンプに伴い、空港や練習会場等での歓迎や特産品の差し入れを行い、歓迎看板及びフラッグを設置し歓迎ムードを高め、グラウンド整備を始めとした受入体制の充実に努めた。

また、昨年度に引き続き香川真司選手の個人キャンプの受け入れを実施。多くのサポーターや報道陣が訪れ賑わった。

(1) 春季キャンプ12チーム（※キャンプインの順番で掲載）

①鹿島アントラーズ（J1）

期 間：平成30年1月16日～28日

場 所：KIRISHIMAハイビスカス宮崎県総合運動公園陸上競技場

②徳島ヴォルティス（J2）

期 間：平成30年1月24日～2月3日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園ラグビー場

③セレッソ大阪（J1）

期 間：平成30年1月27日～2月4日

場 所：宮崎市国際海浜エントランスプラザ

④大宮アルディージャ（J2）

期 間：平成30年1月30日～2月7日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園サッカー場

⑤横浜F・マリノス（J1）

期 間：平成30年1月31日～2月9日

場 所：シーガイアスクエア1

⑥FC岐阜（J2）

期 間：平成30年2月1日～12日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園ラグビー場 他

⑦アビスパ福岡（J1）

期 間：平成30年2月3日～10日

場 所：宮崎市清武総合運動公園

⑧セレッソ大阪U-23（J3）

期 間：平成30年2月7日～15日

場 所：宮崎市国際海浜エントランスプラザ

⑨ファジアーノ岡山（J2）

期 間：平成30年2月9日～17日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園サッカー場

⑩サンフレッチェ広島（J1）

期 間：平成30年2月10日～17日

場 所：シーガイアスクエア1

⑪ベガルタ仙台（J1）

期 間：平成30年2月11日～18日

場 所：KIRISHIMAハイビスカス宮崎県総合運動公園陸上競技場

⑫ツエーゲン金沢（J2）

期 間：平成30年2月12日～18日

場 所：宮崎市清武総合運動公園

(2) 個人キャンプ

①香川真司選手

期 間：平成29年7月5日～8日

場 所：KIRISHIMAハイビスカス宮崎県総合運動公園陸上競技場

(3) チーム本拠地への表敬訪問

①ベガルタ仙台 期 日：平成29年 8月 9日

②鹿島アントラーズ 期 日：平成29年 9月23日

③徳島ヴォルティス 期 日：平成29年10月 7日

(2) 市民交流サッカー教室

クラブ：鹿島アントラーズ

期 日：平成30年1月21日

参 加 者：小学生低学年85名

6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会

イースタン6球団で開始したプロ野球秋季教育リーグは、平成21年度からみやざきフェニックス・リーグと名称を変え、ファーム全12球団、四国アイランドリーグ選抜Plus、韓国プロ野球3球団を加え合計16球団の参加となり年々盛り上がりを見せている。また、歓迎ムードを高めるため歓迎バナーの掲出、街中イベントの開催などを行った。

期 間：平成29年10月9日～30日（22日間）144試合

実施試合：84試合（60試合が中止）

会 場：アイビススタジアム、サンマリンスタージアム宮崎、他県内各球場（計：11球場）

来場者数：15,596名（前年度16,874名 前年比92.4%）

7. ダンロップフェニックストーナメント宮崎協力会

内容については、みやざきゴルフマンスキャンペン事業「ダンロップフェニックストーナメント」欄に記載

8. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会

(1) 宮崎市青島ビーチセンター指定管理業務（渚の交番）

（公社）宮崎市観光協会と（特非）宮崎ライフセービングクラブが、共同で運営し6年目を終えた。

本施設の運営目的は、宮崎のマリンスポーツやビーチスポーツの拠点として、観光客や市民等が活用できる環境を整えるもので、通年で営業を行っている。イベント等の実施やシャワー・ロッカー等の貸し出し、青島地区の地域振興にも寄与していくと共に、他団体とのネットワークを構築し様々な事業を展開した。

【主な行事】

平成29年5月～10月	みやざき元気体験受入	（利用者数 156名）
平成29年4月～平成30年3月	アウトドアフィットネス開催	（参加者 142名）
平成29年4月～平成30年3月	施設利用者サポート	（利用者数 2,446名）
平成29年7月8日～9月3日	青島海水浴場管理運営業務委託	
平成29年12月10日	青島太平洋マラソンの給水ポイントとしての運営協力	

【年間状況】

年間施設利用者数：130,707名（前年度179,629名 前年比72.7%）

(2) 青島海水浴場管理運営業務

宮崎市青島ビーチセンターの指定管理業務運営に伴い、渚の交番青島プロジェクト実行委員会（（公社）宮崎市観光協会・（特非）宮崎ライフセービングクラブと協同運営）で、夏季青島海水浴場の管理運営業務を受託し期間中の管理・運営及び集客に努めた。

平成29年度も青島ビーチパークがオープンし飲食店や休憩設備が整い、利便性の向上を図ったが、繁忙期に台風接近による遊泳禁止が続いたため昨年より減少した。

開設期間：平成29年7月8日～9月3日 日数58日間（全日遊泳禁止日5日間）

来場者数：164,870名（前年度230,415名 前年比71.5%）

救助件数：150件 253名（安全移送、迷子、軽溺救助、その他）

救護状況：695件（クラゲ刺され、虫さされ、切り傷、擦過傷、その他）

(3) 青島ビーチ魅力アップ事業

青島の観光素材を活かし賑わい創出と海水浴場利用者の利便性の向上を図るため、早朝から夜間まで幅広いお客様に楽しんで頂ける場所「青島ビーチパーク」を開設した。貨物コンテナを改造したコンテナハウスショップを展開し、一般公募から選出した飲食5店舗を設置。3年目となる平成29年度は、運営を（株）STAY.Cへ委託し事業を展開した。また、環境面では日陰エリア増設、無料Wi-Fi設置、宮崎県産材を利用したテーブル椅子の作成、芝生植え付けを行い、今まで以上に幅広い世代に利用しやすい環境整備に努めた。開設期間中は音楽コンサートや映画の鑑賞やヨガイベント等を実施し集客に努めた。営業期間も期間延長を求める声が大きく、平成29年度は、ゴールデンウィークから10月末日までオープンし、約6ヶ月営業した。

主 催：渚の交番青島プロジェクト実行委員会

[構成団体] (特非) 宮崎ライフセービングクラブ、(公社) 宮崎市観光協会

期 間：平成29年4月24日～10月29日

入 場 料：無料

営業日数：161日間 定休日17日 臨時休業11日※台風接近のため

場 所：青島海水浴場 渚の交番東側公園内

来場者数：153, 122名 (海水浴場来場者164, 870名)

(前年度139, 247名)

1日最高来場者数 7, 583名 平成29年8月26日

運営委託：(株) STAY.C

出店店舗：5店舗 (HAYHAY MAMBO、HaMare、DOUBLE、肉バルHELLO×HIGECAFE、UPPER YARD)